



和光市長(5月8日まで)

松本たけひろ(武洋)

市政レポート R3年4月号(配布版)編集・発行:松本たけひろ後援会

大きく市政が動いた3期目~しばさき光子がきく

3期目は6分野33の公約を提示させていただきましたが「地域密着型高齢者入居施設の整備」「学校トイレ設備の改善」「防災倉庫の更新」の3つが未達となっています。3期目を含め、この約12年を市内出身・在住の税理士、前代表監査委員のしばさき(柴崎)光子さんと振り返ります。

柴崎 白子で生まれ育った者として、ここ数年の和光のまちの変貌には目を見張ります。3期目の市政運営を振り返って、公約の実施状況は？

松本 地域密着型の特別養護老人ホームをつくる、という公約は介護業界の人手不足などにより手が付けられていません。他は、「学校トイレ設備の改善」「防災倉庫の更新」も含め着実に着手・推進しています。

柴崎 あらためて、駅のエスカレーター、広沢地区の複合施設、保育園の増設、ごみ焼却施設は朝霞市との合意から一部事務組合設置など、今期は目に見える形でまちづくりが動きましたね。特に、しばらく海外にいた関係で、立派な東武の駅ビルができてびっくりという感じなのですが、その際にエスカレーターやエレベーターを作ったのですね。

松本 補助金を出すことで、エスカレーターとエレベーターを電車が動いていない時間も使えるようにしました。おかげで駅ビルの使い勝手についても東武さんとはいろいろお話ができて、いい方向に着地できましたね。

柴崎 市の権限が及ばないところでも工夫でいろいろと誘導したり、交渉したりする、というのが腕の見せ所ですね。さて、私のような子育て世代には、子育てと教育が気になりますが、この分野の進展はいかがですか？

松本 保育園は引き続き増設しまして、4年で約200人の定数を増やしました。特に幼保一体の認定こども園を4月1日に市内で初めて誘致でき、私の持論である親の仕事に関係なくいろいろなご家庭のお子さんが集まる保育の場が実現しました。学校トイレの改修については3校進めまして、もう1校



しばさき光子、大野元裕知事との政策懇談



広沢複合施設にオープンしたこども園

で公約分が終わります。今後も学校再編と併せて改善が必須です。

柴崎 自治体選びで重視される、小中学校の学力面はどういう状況ですか？

松本 ここ4年(去年は未実施)の全国学力調査の結果、小学校も中学校も県内で常に総合でトップクラスです。また、英語四技能のテストであるGTECでは参加自治体中、公立ではトップクラスの成績でした。小3、小4の35人学級も実施しており、教育再生実行会議の分科会でもこれまでの成果を発表しました。あと大きな課題としては、北側に中学校がどうしても欲しい。

柴崎 たとえば、土地区画整理事業と絡めて中学校問題の解決をぜひ、やりたいですね。広沢複合施設のうち南地区がオープンしました。さて、広沢複合施設では、子どもの発達支援関係で、今回オープンした児童発達支援センターに期待するとともに、12月にできる予定の北地区の児童発達専門のクリニックの誘致にも注目しています。今のところ何カ月も前に予約して、都内の小茂根まで行く必要があるわけですから、大きな改善です。

松本 発達支援については、教育支援センターの設置から、通級の増設、支援級の増設など全力で取り組んできました。そして、広沢の新クリニックに

は、医師会和光支部の先生の協力を得て、子どもの発達を医療的にバックアップすることが期待されています。

柴崎 市とクリニック、市内の関連施設がうまく連携できる仕組みをどう構築するかがカギになりますね。そして、北地区でもうひとつ、今回の特徴は児童センター、プレイパークと併せてオープンする民間施設である温泉にも注目しています。

松本 広沢複合施設はPFIと民間活力が特色です。コロナ禍を越えたとき、広沢は和光市を代表する賑わいスポットになると期待しています。

柴崎 コロナ対応もまだまだ続きます。私が住んでいたシンガポールでは、大胆な私権制限ができる、という社会の特性を生かして抑え込みに成功していますが、日本は社会の状況が違います。それでも医療機関と連携した啓発やコロナワクチンに関する地域の普及などやれることがあるはずですよ。

松本 まずはワクチンです。本格的にワクチンが来るのは5月半ば以降ですが、さいわい医師会和光支部の先生方の全面的なご協力があり、その頃にはフル体制で接種ができるはずですよ。

そして、コロナでリーマンショック時よりも悪化してしまった財政についても、財務の素人では絶対に太刀打ちできません。数字に強いことは、今この時代の市長を務める第一の条件と言えます。



市内高校での「どこでも市長室」

残された課題は！？～和光新時代は女性活躍に期待する

柴崎 この12年間で印象的な政策は。

松本 高齢者福祉の地域包括ケアにおいては、1期目、24時間定期巡回・随時訪問サービスをいち早く導入し、2期目に全市展開しました。在宅型介護のモデルとして、今では全国で推進されています。また田中茂市長の遺志でもある介護予防のさらなる活性化についても、地域にきめ細かく拠点を配備し、高齢者の元気につながっています。このほか、ネウボラなど福祉施策の推進により、和光市として総務大臣表彰を受賞しています。

下新倉小学校の建設も地域の方々のご協力で早期に実現できました。同校は地域活動の拠点や図書館、学童保育など、公共施設再編のモデルとなる地域の総合型施設として、建築・緑化の2部門で建築業界の素晴らしい賞を受賞しました。

東日本大震災をはじめとする大規模災害において、積極的に職員派遣や物資の支援などを行ったのも大変印象に残っています。被災地支援では国庫による支援もあることから、大きな財政負担を伴わずに職員が鍛えられ、組織としても経験値を積むことができ、今後実施すべきです。

柴崎 とはいえ私の目から見ても、課題が多数残っています。まず、お年寄りなど交通弱者対策です。

松本 昨年12月議会で地域公共交通会議に関する条例が可決され、市内の官民の持つ交通資源を持ち寄り、合理的な配分する取組が始まります。また、駅北口から和光北インターまでの電気自動車を使った自動運転サービスによる新交通を内閣府・国土交通省の事業採択の下、4年で実装化する計画が進んでいます。もう一つ、「都市計画道路」という市内幹線計画があり、これを優先的に事業化して行く方向です。

これらは多くの利害関係者の調整の下で事業を進めていかなければならず、大きな組織での勤務経験やマネジメントの資質がある経営トップが絶対に必要です。

柴崎 コロナで地域の経済が疲弊しています。駅前のカフェの撤退には衝撃を受けました。今、プレミアム商品券事業が行われていますが、買えなかった人が多いという声を聞

きます。一人当たりの冊数をより制限すべきです。

松本 事業の成果を見ながらになります、仮に次回やる際にはそうしましょう。

柴崎 松本市政の都市基盤整備では、北側はかなり力が入ってきましたが、大江戸線の延伸とともに、魅力が爆発的に上がるのが南一丁目を中心とする和光市の南側の地域です。練馬区との連携により、鉄道新駅を活かしたまちづくりができるのではないですか。

松本 その通りです。練馬に限らず隣接自治体としっかりと連携を進めてきました。地下鉄延伸が具体的に動き始めたら、延伸を前提としたまちづくりを民間活力も生かしながら、練馬区とも連携して進めることでびっくりするほど便利になるでしょう。

柴崎 不祥事対策がコロナ禍のなか、停滞している印象があります。

松本 今年前半には裁判の決着がつき、第三者委員会も一気に進みます。また、私としては任期中に出来る判断は行い、今回私は退任で責任を取りますが、併せて実施させていただきます。

柴崎 私が代表監査委員を務めていた時にも犯罪行為があったということを含め、事件について報道で知りました。あらためて、組織の風通しに課題があること、そして、いわゆる内部統制制度について施政方針でも言及しておられましたが、監査の充実と併せて積極的に取り組む必要性を感じました。

松本 柴崎さんの得意とする分野ですね。私はこの件のけじめをつけ、次は出馬しないこ



理研本部棟計画は高度地区を変更して対応

とを早期に決めていましたが、誰もが適切な処理をできるわけではありません。二度とこのようなことが起きないように、コンプライア

ンスや経営に強く、責任感のある方が役所を引っ張ることを望みます。

職員不祥事に関し任命責任を踏まえ退任します

4月12日、記者会見を行い、5月8日付で退任するとともに、次期には立候補しないことを発表しました。まずもって、この度の不祥事に関し、被害者および市民各位に、大変なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今回の不祥事が最初に発覚、その後、刑事裁判が始まったとき、この事件の判決は昨年5月頃に出る予定でした。それを踏まえて事件への対応を素早く終わらせ、私も職を辞するというイメージを持っていましたが、コロナ禍の拡大で裁判が大幅に延期となってしまいました。

さて、現状では刑事裁判の最終的な判決は夏

ごろが想定されます。このため、私としては明確に公務員法等の法令に違反する行為が認められる職員について、現時点で可能な処分等を行うことを考えています。そして、私自身もこれを機に職を辞することにしました。

一方、今もコロナ禍は続いており、市長任期の長期の空白は望ましいことではありません。そこで、現状での和光市の最重要課題であるワクチンの集団接種が始まる5月8日までは市長としての職務を全力で務めさせていただきます。

長年のご支援、ご指導に感謝申し上げます

和光市議会議員として2期6年、市長として3期約12年、和光市民の皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

マンションの管理組合や自治会で初めて地域のことに関わるようになり、その後、知れば知るほど、触れれば触れるほど素晴らしい和光市の可能性とさまざまな地域の資源、何よりも人の素晴らしさにこの仕事をさせていただける幸せを強く実感した日々でした。

さて、私自身は少なくとも、当面は選挙には出馬せず、まずは私の思いを引き継いでくれる方の応援を全力でしたいと考えています。そして、市民の皆様が選ぶ新たな市長に期待を込めて和光市政のこれからを託しま

す。一個人となっても、引き続き、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



産科、小児科、救急科など埼玉病院も充実

市政に関する皆様のご意見がございましたら、下記フェイスブック、ツイッター等でお寄せください(市長への手紙も私は8日着まで)。

本紙は松本武洋(まつもとたけひろ)の個人市政レポートです

blog <http://takeyan.ameblo.jp> twitter @takeyanm FaceBook、mixi アカウントもあります。
市長の部屋(和光市役所公式サイト) <http://www.city.wako.lg.jp/home/shisei/shicho.html> *「市長の部屋」では、市政に関するさまざまな情報を発信しています。また「市長へのご意見」のコーナーでは、市政全般に関して皆さまの声をお寄せいただくことができます。市の施設にある「市長への手紙」の封筒も同様です。5月8日まで私が必ず読んでいます!